



## 身を切るなら政党助成金を

議員定数削減？

野田首相は、国民に負担を求めるのだから、議員も身を切らなくては・・・と「議員定数削減」と声高に発言。それで、減らすのは比例代表。結果として減るのは少数政党の議席だけ。小選挙区では第一党が当選するかから民・自には痛く無い。

政党助成金は

企業団体献金をなくす為と導入された政党助成金制度が出来て十七年。その間、自民二五四〇億、民主一六二九億、公明四一四億、社民三三五億も受領。共産は三五〇億を受け取り拒否。まず、この政党助成金こそ無くすべきだ。

もし、政党助成金が無く、企業団体献金が禁止されたら、政党は

その運営資金を国民の寄付に頼るしかない。

そうなると、政治のあらゆる局面で、国民の声に真摯に耳を傾けなければならなくなる。政党助成金があるから、選挙が終われば、国民に背を向けて、次の選挙まで、献金をくれる経団連の顔色をうかがうことになる。

選挙がすめば

民主は「消費税は上げない、普天間基地は最低でも県外」としたが、自公と「消費税引き上げ」。

〇〇年に原発廃止、卒原発と云って議席を取る。選挙が済めば、電力会社、原発関連企業の献金を受け「今すぐ停止と云った訳じゃ無い」とするのではありませんか？

皆さんはどう思われますか？

## 焼津港



焼津港の水揚げ高は、

トン数で銚子に次いで二位。金額では福岡に次いで二位である。この日も沖側の埠頭では大型漁船からの水揚げが続いていた。古くから、焼津港から多数のマグロ漁船が出航していた。

一九五四年アメリカはビキニ環礁で水爆実験を強行。

マグロ漁船第五福竜丸はアメリカの指定した危険区域外で死の灰を浴びた。

「被害を無線で報告すると米軍に察知されると米軍に放射能が水爆被害が世界に拡がるのを止めようとする米軍に撃沈される」

と無線連絡を控えて焼津に帰港。苦勞して捕ったマグロは放射能汚染で処分。更に、放射線の影響で久保山無線長は四十歳で死亡。

彼の墓は正面の山の向こうにある。